鹿児島県立鹿児島中央高等学校

ＳＳＨニュース

第３１号

ＳＳＨ「探究Ⅲ」最終報告会実施！

７月４日にＳＳＨ「探究Ⅲ」最終報告会が実施されました。これまでは新型コロナウイルス感染症の影響のため校内で実施していましたが，ＳＳＨⅠ期４年目を迎えた３年生の研究成果発表を宝山ホールで行うことができました。

▲この日の発表に向けて，３年生全員で準備しました。

国立研究開発法人科学技術振興機構，運営指導委員，教育関係者，同窓会，３学年生徒保護者，中学生など多くの方に観覧に来ていただきました。

ステージ部門でもポスター部門でも，各研究班が「後輩に継続研究をしてほしい！」という思いを持ちつつ発表をしていました。

１年生は後期から探究活動の班編成，テーマ設定が行われます。今回の最終報告会を受けて継続研究を行うグループが出てくるのでしょうか？推移を見守りたいと思います。

ステージ発表！

59 期生には研究班が 87 班あり，そのうち５班がステージ発表をしました。演題は以下の通りです。

59A04 班『錯視で危険を回避しよう』
59C09 班『安定するパラシュートの形と素材』
59B06 班『廃校と廃線を利用した地方再生』
59C17 班『バイオエタノールの原料の検討』
59D01 班『微生物燃料電池で高い電力を生み出す』

▲下級生からも積極的に質問が出されました。

発表する側は緊張の面持ちでしたが，下級生にわかりやすく説明するために言葉を選びゆっくり話したり，質疑に対して丁寧に説明したりするなど，どの生徒もプレゼンテーション力が向上している姿が見られました。

ポスター発表！

ステージ発表以外の 82 研究班は B1F, 2F, 3F の各フロアでポスター発表を行いました。下級生がワクワクした様子でポスター前に集まると，前半，後半に分かれて交互に発表を行いました。

▲プレゼンテーション力の成長が大いに感じられました。

「ここがすごい!! 鹿児島・桜島の温泉事情」

６月 20 日には，東京大学大学院の穴澤活郎准教授と鹿児島大学の有馬一成准教授が来校され，上記の演題で講演されました。59B06 班の研究を踏まえ，鹿児島・桜島のみならず日本全国を対象にした温泉の種類，温泉の化学等専門的な内容についてクイズを交えながら軽妙な語り口で講演を進め，生徒たちは最後まで関心を持って真剣な面持ちで聴いていました。

発行：ＳＳＨ推進部広報係
2023年７月発行